

議 事 録

会 議 名	令和7年度第1回寒川町社会教育委員会議		
開 催 日 時	令和7年5月15日（木）午後1時30分～3時30分		
開 催 場 所	寒川町民センター 3階 講義室		
出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数	出席者：黄木 悟、林 ミカ、新井泰春、濱田品枝、蛭田 昌、森 和彦、山口明伸、 倉本佳子、仲田政一、三澤米子 欠席者：なし 事務局：大川教育長、高橋教育次長、岡野生涯学習課長、山口生涯学習課副主幹 早川主任主事 指定管理者：別府町民センター館長、川村総合図書館長 傍聴者：2人		
議 題	報告事項(1)令和7年度重点施策について (2)令和7年度生涯学習・文化振興主要事業計画について (3)令和6年度社会教育及び生涯学習・文化振興事業実績 協議事項(1)各種団体への派遣委員選出について (2)令和7年度社会教育関係団体補助金等の交付について (3)第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について (4)「寒川 学びプラン」の進行管理について		
決 定 事 項	協議事項 (1) ～ (4) について了承		
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付 黄木委員、濱田委員、蛭田委員</p> <p>3. あいさつ 大川教育長</p> <p>4. 自己紹介 社会教育委員、事務局職員、町民センター館長、図書館長</p> <p>5. 議事録承認委員の指名 各回名簿順に2名ずつ依頼。今回は森議長、仲田副議長が担当。</p> <p>6. 報告事項 (1) 令和7年度重点施策について 事務局より資料3説明 (2) 令和7年度生涯学習・文化振興主要事業計画について 事務局より資料4説明 (3) 令和6年度社会教育及び生涯学習・文化振興事業実績 事務局より資料5説明</p>		

**【議長】**ただいま事務局より説明がありましたことについて、ご質問等がありましたらお受けしたいと思います。

**【委員】**社会教育関係団体補助金の交付について、前年度より増えている根拠を教えてください。

**【事務局】**補助金の交付については後ほどの協議事項でご説明させていただく予定ですが、増額しているのは PTA 連絡協議会への補助金です。こちらは増額というよりも、昨年度が減額されていた状況で、コロナの時期に団体の繰越金が多かったことを財政課より指摘されておりました。ただし、全く補助金をゼロにするということではなく、P 連も事業は続けておりましたので、昨年度に一旦補助金を 5 万円減額しました。令和 4 年度の実績をもとに、令和 6 年度の補助金額の予算計上をしておりましたが、令和 5 年度、6 年度は P 連の活動もほぼ再開している状況でしたので、補助金額を元に戻しました。

**【事務局】**今の説明の補足ですが、コロナ禍では皆さん活動が制限されて思うようにできなかったということがあります。それまでの繰越金が活動できないため使わない状態で残っていましたが、コロナの制限をあまり受けないように活動もしたいということで事業計画を立てていただいていた。予定している事業費の規模と繰越金の額で、新年度の事業活動の経費として会費と繰越金だけでは足りないという場合にはそれを加味して町の補助金として支出しておりますが、活動が止まっている中で町の補助金を同額のまま支出すると、繰越金が増えてしまうこともあったので、事業活動に支障のない範囲で一旦補助金額を 5 万円減らしても事業活動は可能である、補助金も適切に執行できる、ただし活動が戻れば補助金額も戻しましょうということを確認し、活動が再開しているの、今年度の補助金額は元に戻しました。

## 7. 協議事項

(1) 各種派遣団体への派遣委員選出について  
委員の互選により次のとおり決定。

- ・神奈川県社会教育委員連絡協議会理事…森議長
- ・寒川町教育委員会外部評価者…蛭田委員
- ・寒川町青少年問題協議会委員…新井委員
- ・寒川町公共施設再編計画進行管理委員会委員…山口委員
- ・公民館の外部モニター…濱田委員
- ・図書館の外部モニター…蛭田委員

(2) 令和 7 年度社会教育関係団体補助金等の交付について  
事務局より資料 7 説明

**【議長】**ただいまの事務局からの説明に対し、ご意見、ご質問等がありましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。無いようであれば、私からお聞きしたいのですが、祭ばやし保存会は連合会という上の組織に補助金を交付しているということでしょうか。

**【事務局】**はい、祭ばやし保存会は町内各地区に 7 団体ある連合体として祭ばやし保存会連合会がありまして、そこに対して交付しております。なお、文化連盟にも祭ばやし保存会は加盟しておりますが、文化連盟の補助金対象としては除外していただいております。文化連盟への事業費補助には祭ばやし保存会連合会は含まれておりません。

**【議長】**ほかにいかがでしょうか。とくにご意見が無いようであれば、今年度はこの額で承認ということよろしいでしょうか。

<委員承認>

(3) 第 56 回関東甲信越静岡社会教育研究大会神奈川大会について

・分科会について

事務局より資料 8、9 説明

第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会

開催日：令和 7 年 11 月 20 日（木）全体会 関内ホール

令和 7 年 11 月 21 日（金）分科会 関内ホールほか 4 会場

寒川町は第 3 分科会（横浜情報文化ホール）を担当

【事務局】第 3 分科会「家庭教育支援」の事例発表市町村が未定でしたが、3 月 18 日の実行委員会で令和 5、6 年度に地区研究会をやった市町でとの意見が出て、4 月に入ってから県事務局より寒川町に受けてもらいたいという依頼がありました。発表者は社会教育委員でなくても教育委員会職員でも構わないという話であるので、社会教育委員会議で協議し承認を得た上で回答すると保留しています。

【委員】家庭教育支援のテーマについては、学校教育の現場から見ても家庭教育は厳しい状況があり、難しいと思っています。見通しとしては何か取組はありますか。

【事務局】これまでも公民館、図書館では家庭教育支援という名目で、親子で参加する事業であるとか、子どもの体験活動、子どもの読書活動もそうなのですが、様々な取組はやっておりますので、これを紹介したいと考えております。学校と連携した形でいろいろな取組についても、本日は時間の都合で協議はできないのですが地域学校協働活動のことも触れることができると考えております。

【議長】寒川町が事例発表を行うということで承認いかがでしょうか。

<委員承認>

【議長】ありがとうございます。それでは寒川町が第 3 分科会で発表を行うということで承認いただきました。社会教育委員としてどのように協力するかはまた事務局で調整をお願いします。

【事務局】今後の会議で随時報告、調整をさせていただきますようお願いいたします。

・協賛金募集活動について

事務局より資料 10 説明

【議長】これにつきましては、社会教育委員の中で心当たりのある個人、団体、企業などありましたら、お声かけくださいということでもよろしく願いいたします。

(4)「寒川 学びプラン」の進行管理について

事務局より資料 11 説明。令和 7 年度に組織改革があり、教育振興基本計画と寒川学びプランも統合を見据えて令和 7 年度に検討を行う。これまでの学びプランの外部評価を行う審議会である生涯学習推進会議を休止し、社会教育委員が代替し、プランの令和 6 年度及び総括評価を行うことについての事務局提案。

【議長】ただいまの説明に対しまして、ご意見、質問等がありましたらお願いします。無いようであれば私からお聞きしたいのですが、この計画は令和 7 年から 10 年度までですか。

【事務局】はい、第 3 次寒川学びプランは令和 7 年度から 10 年度までの計画期間となっております。

【仲田副議長】私から補足しますと、昨年度の生涯学習推進会議に出ていましたが、最後の会議で、このプランの内容で行くということは委員全員が了承しています。これで令和 7 年度は進行しても問題のない内容です。

**【議長】**私も前に生涯学習推進会議の委員をやっていましたが、指標がおかしいところがあると思っていて、現状値が100であると理解していますが、年度別の指標で人員などが減っている項目があり、そういうことは計画としてありえないのではないかとこの前のプランの時は指摘しました。新しいプランでも22頁の高齢者介護予防事業も令和5年度の現状値は240に対して、7年度以降は192とか、その隣の男女共同参画事業も令和5年度が223に対して、令和7年度以降は100になって、倍も下がっている。これはおかしいので、今後はきちんとやってもらいたいと指摘しましたが、今回見ても、それが変わっていないと思いました。明確な理由があればいいのですが、他でも計画の数値の設定がおかしいのではないですか。

**【事務局】**同様の意見は、昨年度の生涯学習推進会議でもいただいております、各事業実施課に確認を取りました。今はその時の資料が手元にないので正確にご説明できないのですが、担当課に確認をして、その数値にした理由がありまして、確か事業の開催回数変更などがあったかと記憶しています。なおかつ、この数字に関しては総合計画の目標数値と合わせているとの回答がありました。各事業の個別の理由について担当課に確認をとってこの数値を定めています。

**【議長】**今のお話しですと、総合計画に合わせたとなると、総合計画の数値自体の設定がおかしいのではないかと思います。元はどうなのかということが単純に気になります。民間企業であれば、現状が100であると目標はプラスにしていけないと発展していかないことになりますが、それを下げてしまっている。

**【事務局】**令和5年度の現状と目標で、基盤となる場所に何らかの違いがあるという説明でした。今日は手元に資料がないので詳細をご説明できないのですが。

**【議長】**そういうことであれば、今後で構いません。新しいプランを見た中で、下がっているものがあることが気になりました。

**【副議長】**その件は私もその会議で指摘しました。説明いただき納得しているので、正しい説明が返ってきたかと思っています

**【議長】**そうでしたか。他にご意見いかがですか。

**【委員】**これは町の教育振興基本計画に寒川学びプランを盛り込むということでしょうか。以前、教育委員会に生涯学習課があった頃は教育振興基本計画の中に生涯学習課の事業が入っていましたが、組織が変わって、抜けた後の教育振興基本計画の策定に携わりましたが、これは教育振興基本計画とは別に学びプランもやっていくということでしょうか。

**【事務局】**第1次の教育振興基本計画が出来た後に生涯学習課の業務が分割されて教育委員会からほぼ町長部局に移ってしまい、計画から生涯学習関連事業を外すこととなってしまったため、その時の反省を踏まえて、今度の新しい教育振興基本計画を作りましょうということになっています。以前は学びプランが先にあり、教育振興基本計画が新たにできて、教育振興基本計画に統合する予定でしたが、組織体制が変わったため、学びプランは継続されました。再び、教育委員会に生涯学習課と学びプランが戻ってきましたので、生涯学習を推進する計画をそのまま2つとも継続するにしても、目標とする数値が同じになりますので、重複する部分は学びプランの46事業から減らすという方法もあると思います。

**【事務局】**今、説明がありましたが、似たようなプランが2つあるのはわかりにくいと思いますので、我々の考えとしては、学びプランは新たに第3次を策定しましたが、教育振興基本計画の中にその重要なエッセンスを含ませて、計画としては一本化していきたいと考えております。その方向性でいくかは町役場の内部の会議でも諮らなければならないので、そこでも確認を取り、このような考えでいきたいということは伝えてまいります。正式にそのような方向性になりましたら、また内容は皆さんにもご意見をお聞きして決めていきたいと思っています。それなので、基本は一本化していきたい、会議体も社会教育委員会と生涯学習推進会議を一本化していきたいという考えでおりますので、それは正式に決定しましたら、またご説明いたします。

**【議長】**わかりました。それではよろしいでしょうか。

**【副議長】** 私は今のご説明で納得しております。要は委員の皆さんが心配しているのは、重点施策と学びプランの両方を我々で見なければいけないのかという観点だと思うのですが、それは合体するので、社会教育委員会議で意見してほしいということで合点しております。

8. その他

事務局より資料 12 に基づき今年度の会議等日程について説明。

各部会の会議予定

公民館部会：①6月25日（水）、②10月29日（水）→再度日程調整

図書館部会：①6月26日（木）、②10月30日（木）

全体会：第2回…8月25日（月）→再度日程調整、第3回…2月12日

神奈川県社会教育委員連絡協議会及び神奈川県公民館連絡協議会

6月9日（月）県社会教育委員連絡協議会総会…森議長、仲田副議長

9月1日（月）県社教育委員連絡協議会研修会（藤沢市）…倉本委員

11月20日（木）21日（金）

1月23日（金）県公民館大会（足柄合同庁舎）

**【議長】** その他に委員の皆様から何かありましたらいかがでしょうか。

**【委員】** 私は今年度から新任となりましたが、地域学校協働活動について協議されているということで、本校での状況について申し上げます。コミュニティスクールは寒川小学校が町内で最初に設置されて、今では町内全校に設置されていますが、その中で委員の皆さんたちにごんばっていただいております。やはり取り組みをいろいろ進めていく上で、本来は委員で熟議をして、地域の力を学校に活かしていこうとしていますが、なかなか実働部隊の手立てが難しいところです。委員を中心に実働部隊になっていただいていたのですが、委員の方も疲れて来ており、新年度が始まってからこれまで協力いただいていた委員2名が辞退されました。寒川小学校のコミュニティスクールが最初に立ち上がりましたが、今は活動することが苦しくなっている状況があります。本来であれば地域学校協働本部があり、車の両輪となってコミュニティスクールが推進していけるはずですが、そのあたりがまだまだ難しいです。PTAも一緒にやっけていただいておりますが、つてをたどって地域の方に少しでもご参加、サポートがあるとコミュニティスクールが進んでいけると考えています。地域と学校がWin-Winな関係で運営できるような仕組みも考えていかなければと思うのですが、現状ではこのような状況です。

**【議長】** コミュニティスクールの委員はもともと何人くらいいたのですか。

**【委員】** うちの学校は13人でした。PTA関係の方や、元教職員や、地域の自治会関係の方などに入っけていただいております。それぞれ皆さんお忙しいので、学校運営協議会の委員として協議、熟議はするけれど、その取組を実際にやっけていかなければならないので、かなり時間を拘束してしまうことがネックになっています。

**【副議長】** ありがとうございます。きっと地域学校協働活動を始める時には、ボランティアの方たちを一同に集めるボランティアバンクも必要だと思っます。それを今のご意見を聞いて、痛烈に感じました。それから地域学校協働本部として運営するために、何が必要かということで一つのアイデアをいただきました。次回の部会の協議の時にその話もしていきたく思っました。

**【委員】** いろいろな課題があると思うのですが、そこを橋渡しするコーディネーターも必要だと思っます。その仕組みについては我々も理解を深めながら、少しでも学校に地域の力をいただき、地域の方もやりがいを感じてもらえるような形、学校も助かる形を考えていければと思っます。寒川町は県内でも早い時期にコミュニティスクールを始めたので、より良い形を探っけていければと思っます。

**【事務局】** 学校現場からの状況について、お話しいただきありがとうございます。ボランティアをやりたいと思っている方は多いと思うのですが、なんでもできるよということでもなく、ジャンルをもう少し絞った方がやりやすいのではないか思っており

	<p>ます。例えば、図書館の配架書架整理ボランティアも一昨年までは協力者が先細りで減っていたのですが、昨年度はボラティア説明会を町のLINEで情報発信したところ、新規の方が20人ほど集まったということがありました。今年も同様にLINE配信したところ、また20人くらい参加があったと聞いており、喜ばしいと思っております。学校に関わるボランティアをやってもいいという方まで情報が届いていないということもあると思います。周知活動をどのようにやるかが課題でもありますし、誰でもいいわけでもなく、適切な方に来ていただきたいという希望もあります。これは繋いでくれるコーディネーターの存在は重要だと思っています。学校と地域が共にWin-Winとなる良い形で進めるにはどうしたらよいかということを社会教育委員会議の中で協議を重ねて寒川町としての方向性を出していければと考えておりますので、今年度はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p><b>【副議長】</b> ちょっとフライングではある私の意見ですが、地域学校協働活動に対して、このテーマで行ったらいいのではないかと概略的に作って事務局に渡しています。次の会議で皆さんに配布していただけたらと思います。先ほど学びプランについて話がありましたが、今ある町民大学をもっと刷新して、新町民大学としてひとつの頂点を作って、合体してはどうかと思っております。もう一点は実際にボランティアをやるにはどうしたらいいかという観点で、環境支援、学習支援、専門性、一般という形に分けたときにどういうボランティアなのかという表を作りました。次回の部会でお話できればと思っています。</p> <p>9. 閉会 仲田副議長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1_令和7年度社会教育委員名簿  資料2_社会教育法抜粋等  資料3_令和7年度重点施策  資料4_令和7年度生涯学習・文化振興主要事業計画  資料5_令和6年度社会教育及び生涯学習・文化振興主要事業実績  資料6_令和7年度社会教育関係団体補助金交付予定一覧  資料7_令和7年度の各種団体への派遣委員選出について  資料8_第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会趣意書・開催要項(案)  資料9_令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会(寒川町会場)報告概要  資料10_第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大協賛金募集活動について  資料11_第3次寒川学びプラン  資料12_令和7年度寒川町社会教育委員会議等日程(案)</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・森 和彦                      ・仲田政一</p> <p style="text-align: right;">(令和7年8月6日確定)</p>